

Safety Promotion School 7つの指標

大阪市立新高小学校

指標 3 : 学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が、「安全教育」「安全管理」「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている。

新高小学校 年間計画 指針

- ① 児童が主体的に「安全・安心」について理解することができている。
- ② 教職員が主体的に「安全・安心」について理解することができおり、主体的に判断できる。
- ③ 地域・PTA 等学校関係者と連携した活動を具体的に実行する。
- ④ 消防・警察等関係諸機関との連携を図った活動を具体的に実行する。

分野	領域	年間計画
生活安全 ① 防犯 ② いじめ ③ 不登校/虐待 ④ 特別支援教育 ⑤ 生活習慣 ⑥ 事故対策	安全教育	① PTA・警察と連携した防犯教室を年度内に実施する。不審者侵入時に、教職員・児童が主体的に判断・行動できるようにする。 ② 指導ガイドラインを確立する。いじめ調査結果から対策までのフローを確立する。 ③ 不登校・虐待等に対し、教職員が一定のフローに基づいて行動できるようにする。 ④ 特別支援教育モデル研究校として、インクルーシブ教育研修会の実施、および支援児童の教職員共通理解を図る体制作り ⑤ 睡眠習慣の改善を図る啓発活動実施。 ⑥ 月1回、安全チェックの実施と改善に向けた行動を教職員が自主的に実行できるようにする。
	安全管理	① 運動会の運営方法を見直し実施（児童席/保護者席の分離・組体操の見直し）・検証。 ② いじめ調査結果から対策までのフローを確立する。 ③ 毎月出席状況の把握・家庭訪問の実施等 ④ インクルーシブ教育巡回指導強化 ⑤ 生活習慣点検の運用フロー変更。 ⑥ 学期に1回、Exciting Walk Through（安全巡回）実施と対策フローの確立。

	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 関係機関との連携を図る（体育施設開放等へのルール徹底等）。 ② 人員配置強化（SSW 等専門家との連携・生活指導支援員配置） ③ 子育て支援室・子ども相談センターとの連携 ④ 特別支援学校との連携（居住地交流） ⑤ PTA けんこう推進チームとの合同 Project 立ち上げ ⑥ 教育委員会（施設整備 G）との連携強化。
災害安全 ① 防災減災学習 ② 避難訓練	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ① H29 年度より、総合的な学習として防災教育授業を推進していく。 ② 災害時に児童が避難ルートを覚えている状態を作る。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 防災マニュアルの再整備を行い、教職員の共通理解を図る。 ② 想定される様々なケースの避難訓練を中期計画で実施、初年度は想定される 3 ケースについて実施する。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 消防署と連携したマニュアルの整備を行う。災害安全に関する活動を保護者に情報公開を行う。 ② 地域と連携した大掛かりな防災訓練を H29 年度内に実施する。
交通安全 ① 交通安全（被害・加害予防） ② 地域連携	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ① 歩行者・運転者双方の視点を踏まえた安全教育活動（自転車教室）を実施する。 ② PTA・地域との連携を図った安全教室の実行。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎朝、看護当番による正門指導を毎朝実施するとともに、生活指導支援員による下校時看護を実行する。長期休業中の看護体制も確立する。 ② PTA・地域との連携を図った「通学路の危険個所の把握・改善」を実施する。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ① セーフティ淀川・警察等と連携し、危険情報の収集を行う。 ② みまもり委員会・みまもりたい・PTA みまもり委員会との交流会を持ち、「危険情報の共有化」「登下校マナー改善」を行う仕組みを作り、運用する。